

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民環境講座事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	環境に対する意識・実践行動の高揚を図る。
事業内容	流山市地球温暖化対策実行計画の推進を図るため、自治会・事務所・学校等に出向き実施する環境出前講座と一般市民を対象とした公開講座を委託により実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	市民による地球温暖化対策の推進には環境学習の果たす役割が大きく、環境の現状や取組方法についての最新かつ正確な情報を提供することが求められている。平成22年度からは自治会などに出向いて講義を行う出前講座を開始した。平成23年3月の東日本大震災を境に特に省エネルギーの分野において感心が高まり、また平成28年11月に発効したパリ協定とこれに伴う国の温暖化対策計画の策定により市町村にもさらなる取組みが求められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	市民環境講座参加者数	455	339	379	人	↑↑↑
②	出前講座参加者数	166	236	168	人	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
平成28年度は、講演会を2回、子供向けの工作教室を1回行った他、最先端の環境技術を体験する国立環境研究所・産業総合研究所の見学会を行った。出前講座に関しては、小学校の総合学習を活用した講座など3回を開催している。

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,938,000	3,097,000	2,897,500
事業費(b)(円)	865,000	838,000	838,000
うち一般財源	865,000	838,000	838,000
職員給与と費(c)(円)	2,073,000	2,259,000	2,059,500
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	若い世代が興味を持ち、新規の一般市民が参加しやすいテーマづくりを行っていく。	③取組の課題	地球温暖化対策実行計画に沿った具体的な取り組みを啓発し、市民の取り組みにつなげていく必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	対象の裾野を広げるため、親子向けの国立環境研究所見学や、農業者向けの農地におけるソーラーシェアリングに関する講座を開催した。	④今後の改善計画	引き続き新規の一般市民が参加しやすいテーマの講座を開催し具体的な取組みを啓発していく。